

文章検

2024年度

漢検

公益財団法人

日本漢字能力検定協会

〔不許複製〕

文章読解・作成能力検定 準2級C 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2024年
11月15日



第1問 【30点】

- 問1 1 エ 2 エ 3 イ 4 ア 5 エ
- 問2 1 ウ 2 ア 3 イ

第2問 【30点】

- 問1 エ
- 問2 イ
- 問3 イ

第3問 【30点】

- 問1 エ
- 問2 ウ
- 問3 イ

第4問 【40点】

- 問1 1 望 ↓ 忙
- 2 ご検討してください ↓ ご検討ください
- 3 サーク

問2

解答例

私たちは日々、新聞記事やテレビ番組を研究しています。その結果、報道に多くの人手がかかっていることがわかりました。そこで、現場で活躍されている先輩からお話をうかがって、理解をより深めたいのです。

(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つながりの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由 **D**: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「参考にするのがよい」立場

高校時代、軽音楽部の仲間と卒業旅行でS県を訪れた。私たちは、ユニークな体験をしたいと考え、まずS県の観光協会のサイトで情報収集をした。しかし、典型的な伝統文化体験の紹介ばかりで興味がわかかった。そこで同年代の人たちの旅行体験をSNSで検索すると、興味深い情報が多数得られた。その中から私たちは、最近注目を浴び始めた高校生シンガーが路上ライブをするというスポットを選び、旅程に入れた。同年代の音楽仲間の旅行であり、楽しい体験にと思ったからだ。実際、路上ライブはすばらしく、充実した旅行となった。

A 観光地に関する情報源は多種多様である。その中でも、個人が発信する情報を参考にするのがよい。

B 個人が発信する情報には、様々な興味関心を持った幅広い年代の人々の実体験が多い。それらから自分に近いプロフィールの人による情報を選べば、自分の好みに適した観光ができる。

C 個人が発信する情報は主観的であり、誤っていることも多い、という意見もある。しかし、単一の情報だけに頼らず、複数の人の情報を突き合わせて共通する内容を見出すことによって、正確な情報を得ることができる。活用の仕方次第で、自分のニーズに合った有用な情報を得ることができるのだ。

(25字×22行)

作成例2 「参考にするのはよくない」立場

近々、某県に旅行する予定でいる。目当ては有名な花火大会だ。行くにあたり、花火大会についての情報を体験者のブログやSNSで収集しているのだが、これが大変だ。ある人は「河川敷からの眺めがよい」と言い、ある人は「近くの公園からおすすすめだ」と言う。また、有料観覧席についても「最高だった」と言う人がいれば、「それほどでもなかった」と言う人もいる。このように、情報は豊富に見つかるが、その内容がバラバラなのだ。多くの人が言っている内容なら間違いなさだろうと思うのだが、それを調べていると、多すぎる情報に振り回されてとても時間がかかる。

A 観光地に行く際には、現地をより楽しむため、事前に情報を収集したくなる。だが、そのときに個人が発信する情報を参考にするのはよくない。

B 確かに観光地は訪れる人が多く、そこで得た情報や感想を発信する人も少なくない。旅先の情報を知るのについてつけの情報源に思える。だが、多くの人が発信した結果、種々雑多な情報があふれる。すると、どの情報が参考になるかわからなくなる。正確な情報を得るためにはより多くの情報源を確かめなければならず、そのための時間も相応に必要となる。

C 個人が発信する情報は経験に基づくものが多く、リアルで参考になると言う人もいる。だが、経験に基づくということは、主観的だということだ。さらに、誤りがあったり情報が古かったりする場合もある。客観的で正確な情報ではないため、参考にはならない。

(25字×26行)

文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 3級C 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2024年
11月15日



第1問 [30点]

問1 1 ウ 2 ア 3 ウ 4 イ 5 ウ

問2 1 ウ 2 イ 3 ウ

第2問 [30点]

問1 イ

問2 ウ

問3 ア

第3問 [30点]

問1 イ

問2 ウ

問3 エ

第4問 [40点]

問1 1 問↓門

2 ご来場してください↓ご来場ください

3 敬具 (※ 不適切な結語：前略)

問2

解答例

例年、海外の珍しい生き物について展示をしていました。しかし、身近な生き物をめぐる環境についても扱うべきだという意見が部員から挙がりました。そこで、今年は地元の池の生態系をテーマに展示をすることにしました。

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとまりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実／理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「分単位の時刻を伝えるのがよい」立場

先輩の家に遊びに行ったときのことだ。前もって「二時から二時半の間に行きます」と伝えておいて、私は二時半に先輩の家を訪ねた。すると先輩は「遅かったね。もっと早く来るかと思ってたから、何かあったのかと心配したよ」と言う。「二時から二時半の間」と言ったために、先輩は「二時」に来るかもしれないと考えたらしい。先輩は、二時から準備を整えて待ってくれていたとのことだった。「お茶も用意してただけで、冷めちゃったからいれなおすね」と、新しく準備してもらい、申し訳ない気持ちになった。

「二時から二時半の間」ではなく、「二時半」と伝えていたら、こんなことにはならなかっただろう。人の家を訪ねるときには、訪問時刻は分単位の時刻を伝えるのがよい。

訪問される側は事前に準備が必要だ。相手が訪ねてくる時刻がはっきりわかっていたら、それに合わせて計画的に準備できる。「〇時から〇時の間」などと幅をもたせて伝えられると、その計画が立てにくい。想定外に早く来られるとあせり、遅くなると心配するなど、訪問される側としては心理的にも負担が大きくなる。

(25字×20行)

作成例2 「幅をもたせて伝えるのがよい」立場

友人の家に遊びに行ったときのことだ。私は「夕方四時に行くね」と伝えていた。だが、到着したのは約束より三十分余りも早い時刻だった。これではさすがに早すぎる。約束の時刻までの暇をつぶせそうな喫茶店やコンビニ、本屋などを探した。だが、知らない町であり動き回ると迷子になるかもしれない。そのせいで遅刻するかもしれない。そう思うと駅の周辺をうろつくしかできず、友人の家に行く前にすでに疲れてしまった。このようなことになったのは、私が「四時」と伝えてしまったからだ。「三時から四時の間」などと言っておけば、駅に着いてすぐ友人宅を訪ねることもできた。

この経験から、私は、分単位の訪問時刻を伝えるのはよくないと考える。訪問時刻は幅をもたせて伝えるのがよい。

分単位の時刻を伝えていた場合、その時刻ぴったりでなければ、訪問先に失礼になる。だが、人の家を訪問するとき、思ったよりも遅れたり、逆に早く着き過ぎたりすることがある。途中で何が起こるかわからないのだ。訪問時刻に幅をもたせておけば、そうした事態に訪問側が苦勞することなく、すんなりと相手の家を訪ねられる。

(25字×20行)

文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 4級C 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2024年
11月15日



第1問 [40点]

- 問1 1 イ 2 ウ 3 ア 4 ア 5 イ
- 問2 1 イ 2 ア 3 ア 4 ウ 5 イ

第2問 [20点]

- 問1 エ
- 問2 ア

第3問 [40点]

- 問1 エ
- 問2 イ
- 問3 イ
- 問4 ウ

第4問 [40点]

- 問1 イ
- 問2 イ
- 問3 ウ
- 問4

解答例

先生にお目にかかるのは小学校卒業以来初めてでした。そのため、部活でがんばっていることなどを先生にご報告したいと思っていました。しかし、参加者が思っていたより多くて、どうしたらよいか分かりませんでした。

(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見

チェックポイント	配点
構成：事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数^{ちようか}超過は採点対象外(0点)です。
 実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「その場で質問するのがよい」立場
 先日、友人たちとの雑談中、ある友人が最近はやっているアニメの話をはじめた。私以外は皆その内容に詳しくようで、各自、自分の好きなキャラクターについて話し始めた。私はそのアニメを知らなかったため、「どんな作品なのか、おもしろいのか」と質問した。すると、話のあらすじから始まり、キャラクターたちの特徴なども説明してくれた。そして、各自の一番好きな放送回や場面やセリフ、さらには、声優にまで話が広がり、まずは友人たちの話が盛り上がった。私の質問がきっかけで楽しく話ができることになってうれしく思った。
A 友人との会話の中で、自分が知らない作品の話が出た時にはその場で質問するのがよい。質問することが話を盛り上げるきっかけにもなる。
 (25字×13行)

作成例2 「その場で質問するのはよくない」立場
 文化祭の出し物について、担当グループ六人で相談していた時のことだ。一人が劇のBGMにはやっている音楽グループの曲を使おうと言いだした。私はそのグループも曲も知らなかったため「どういう音楽なの?」「メンバーはどんな人?」などと質問をした。聞いてみると、テレビCMで流れていて、その曲のダンスをまねるものもやっているとのことだった。初めて知ることばかりで、その場であれこれと質問をしたところ、「そんなことも知らないの」「はやりにも遅れているよ」と全員から少しバカにしたように言われてしまった。分らないければ後で調べればよいのだから、その場で質問するのはやめておけばよかったと思った。
B この経験は、はやりの作品を知らないと見下されることがあるという教訓にもなった。友人との会話の中で、自分が知らない作品の話が出た時には、その場で質問するのはよくない。
 (25字×16行)